

業種	警備	ミ ッ シ ョ ン	経営理念＜共生、育成、責任＞を追及し、社員・顧客・地域社会などの最大幸福を達成する事
本社所在地	千葉市中央区		
創業年	1974年		
代表取締役	小宮 武之	業 務 内 容	「人」と「機械」のそれぞれのメリットを活かした、高品質・高付加価値の防犯、防災、防火サービスを提供
従業員数	2,400名		
HP	https://www.kyowakeibi.co.jp/		

1 - 経営課題とプロジェクトニーズ

次の50年を担う新たな事業の柱を構築したい

- 経営理念を念頭に、「人」と「機械」のそれぞれのメリットを活かした、高品質・高付加価値の防犯、防災、防火サービスを提供し続けていた。
- 一方で、警備業界は、事業者数過多・市場規模縮小による競争激化の傾向にあり、経営環境に不安がある状況であった。
- その為、次の50年を担う、自社の強みを活かした新しい事業を立ち上げたいと考えていた。

☰ C-BIDを通じて得た気付き

テーマの検討段階から副業プロ人材を活用できるという魅力

- 既に多くの新規事業テーマが社内です挙がっており、社内コンペティションを勝ち残った複数案の検討に進んでいる状況でした。
- 当初は特にVR等の先進技術を活用したテーマの具体化を想定していましたが、求人を作成する為の課題整理・優先順位付けの議論、求人公開後の応募人材の傾向・ポテンシャルを踏まえ、テーマの選定段階に立ち戻ることとしました。
- ポテンシャルの高い人材は抽象的な課題感を提示したとしても、裁量の大きいテーマにより魅力を感じるということが理解でき、専門的なスキルを活用した課題解決のみならず、抽象的な悩みから相談できる余地があることは大きな学びでした。

2 - 認識した新規事業推進上の課題

- 自社が取り組むべき新規事業領域の特定やテーマ選定の手法に関する知識が不足している
- 新規事業案の具体化や推進方法に関する知識が不足している（市場調査や実現性の検証・販売戦略の検討）

3 - 採用した副業プロ人材の役割・属性

全体統括・財務・市場/技術調査 7名

プロジェクト管理・調整から事業の実現可能性、収支・販売計画、各種調査を支援する役割

> プロジェクトアドバイザー
> フィーデリティスタディ
> ファイナンスプロジェクト
> マーケター
> 開発営業
> エンジニア

計7名

4 - 企業に生じた変化・プロジェクトの展望

- 副業プロ人材の強みを生かす形で、新規事業を検討する魅力的な体制を整えることが出来た
- 新規事業案のテーマ選定に向けた検討に着手することが出来た

☰ 体制作りにおける工夫点

- テーマの検討段階から関与頂く為、採用段階では役割を設けないようにしました。
- また複数名の採用により（チーム制）、様々なテーマに対応できるような体制作りを意識しました。

☰ 副業プロ人材の採用に取り組んでみた感想

想像以上にバラエティに富んだ各分野の副業プロ人材の方々と出会い、新規事業を検討する体制を整えられたことは、防犯、防災、防火サービス業に長年携わってきた経営者・社員にとっては、現役の他業界・業種の知見や観点を得られる貴重な機会であったと感じています。

